

皆さんも傍聴されませんか

京都府議会2024年(令和6年)2月定例会 日程 2月14日[水]～3月22日[金]

### 本会議 傍聴のご案内

- 傍聴の当日、開会予定15分前から終了までの間に「議会議棟」1階の受付で手続きさせていただきます。
- 手続き後は議会議棟の1階と3階にある傍聴席入り口からお入りください。

### 各委員会 傍聴のご案内

- 傍聴の当日、開会予定30分前から終了までの間に「議会議棟」1階の受付で手続きさせていただきます。
- 手続き後、希望される委員会を各室で傍聴いただけます。  
※委員会の傍聴定員は5名です(予算・決算特別委員会は10名)。  
※傍聴希望者が定員をこえた場合、開会15分前に抽選が行われます。

### モニター視聴のご案内

- 常任委員会と特別委員会は「議会議棟」1階ロビーのモニターテレビで視聴いただけます。
- 開会予定30分前から終了までの間に「議会議棟」1階の受付で手続きさせていただきます。  
※視聴定員は50名です。  
※希望者が定員をこえた場合、開会15分前に抽選が行われます。



本会議の日程や傍聴方法の詳細などに加え  
傍聴者への託児サービスも紹介しています

京都府議会 傍聴

検索



議会議棟1階の受付です



洛央小学校・下京中学校・日吉ヶ丘高校を卒業し  
満1歳の娘を夫と育てながら豊園学区に暮らしています

Shiho Tanaka ● Profile

1994年下京区(豊園学区)生まれ(29歳)。京都カトリック信愛幼稚園、洛央小学校、下京中学校、日吉ヶ丘高等学校を経て進んだ京都府医師会看護専門学校の卒業後、新京都南病院に入職。集中治療室(ICU)看護師として勤務する一方、カンボジアの支援活動、地域こども食堂の運営に携わる。2022年11月に第一子を出産、剣道・弓道の2段をもつ「1歳児」のママでもある。



洛東高校での出前高校生議会

ご意見・ご要望など、お気軽にご連絡ください

京都府議会〈下京区〉選出議員

田中しほ事務所

〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3(七条大宮上る西側1階)

Tel.070-8468-8865 Mail tanaka0721shiho333@yahoo.co.jp

公式X(エックス:旧ツイッター) @ishin\_tanaka\_s



# Shiho Press

田中しほ通信 Vol.03 Mar. 2024

京都府議会〈下京区〉選出議員 田中しほ 府議会ニュース

発行日/2023年12月1日

田中しほ事務所 〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3(七条大宮上る西側1階)

Tel.070-8468-8865

## 子育て中の方々と 連携する機会が 活動の励みに!!



昨年12月4日に開会、同21日に閉会した「京都府議会2023年(令和5年)12月定例会」。その際、わたし“田中しほ”が所属する「子育て環境に関する特別委員会」で産後ケア事業について議論することをSNSで発信したところ3人の子育てされている府民の方から「傍聴できますか?」というご連絡をいただき、

12月19日にご夫妻で傍聴されたご感想などを内面にまとめています。ぜひご一読ください。また、先立つ11月2日には、この田中しほ通信〈Shiho Press〉第1号を見て、わたしに関心をもたれた母乳育児中の方から伺った「乳腺マッサージ」費用の助成についてのご要望も紹介しています。こちらもご一読ください。

### 能登半島地震への対応について

今年1月1日に発生した能登半島地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。あわせて1日でも早く安らかで穏やかな日々を取り戻されることの一助となるよう、京都府による被災地支援の加速を「危機管理・健康福祉常任委員会」の一人として積極的に働きかけていることもご報告いたします。

なお昨年12月には、福島第1原子力発電所の処理水海洋放出により、風評被害の影響を受けられた青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県(順不同)の5自治体へ各100万円、日本維新の会に所属する京都府議会議員9名が「身を切る改革」を原資とする寄付をさせていただきました。引き続き私たちの行動をご注視ください。

## 「産後ケアによる子育て支援」を議論した 子育て環境に関する特別委員会を “0歳児”子育て中の夫妻が傍聴

日時●2023年12月19日[火]13:30～

場所●京都府庁 議会議棟 第2委員会室

内容●産後ケアによる子育て支援について

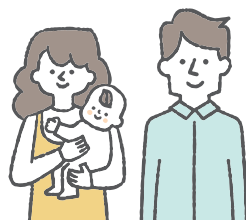
参考人

出張さんばステーション聖護院 海(まある)助産所 助産師  
京都助産師会 助産所部会長

宮川友美さん

傍聴者

京都府在住のAさんご夫妻  
3人を子育て中で第3子は傍聴時0歳(生後4カ月)



### 傍聴された経緯

“田中しほ”が今回の委員会のテーマが「産後ケアによる子育て支援」、参考人が助産師の宮川友美さんであることをSNSで発信した。それを見た3人を子育て中(第3子は生後4カ月)の京都府民Aさん夫妻は以前から宮川

助産師に関心があり、“田中しほ”への問い合わせを経て委員会を傍聴されることに。当日は助産師、保健師、看護師が保健指導や授乳指導、育児サポート等を行う「産後ケア事業」に関する議論をヒアリングされた。

### 傍聴されたAさんの感想

委員会を傍聴できるとは思っていなかったこともあり、とても良い経験になりました。また、委員会では「その通り!!」と感じる的確な指摘や質問が多く、田中しほ議員をはじめ

とする皆さんが、産後ケアに本気で向きあっていることがよくわかりました。これからも「子育て環境“日本一”のまち京都」をめざし、頑張ってください。

### わたし“田中しほ”が思ったこと

0歳児が傍聴席に入れたのは京都府議会“初”のこと。「子育て環境の充実に関する特別委員会」にふさわしい雰囲気になりました。

その一方、5日前までに予約しないと府内「保育ルーム」の託児サービスが利用できないようでは子育て世代の傍聴は増えません。

こうした課題も浮き彫りにしてくださったAさんご夫妻の傍聴。子育て世代に開かれた京都府議会、子育て世代が親しみやすい政治、これらの実現に向けて今後も頑張ります。



## 乳腺マッサージをはじめとする 産後ケア費用の助成が受けられる施設を 京都府にもっと増やしてほしい

昨年11月2日、田中しほ通信<Shiho Press>第1号を見て、頼りになると思ってくださった母乳育児中のBさんから電話があり、「乳腺マッサージ」費用の助成に関する要望を伺いました。



### Bさんからのお問い合わせ内容

(お電話後にもらったメールの要約)



私は母乳がたくさん出るので生後6カ月の女兒を母乳育児しています。でも小さく生まれた私の子は母乳を飲む量が少なく、おっぱいが痛んで眠れないほど辛い乳管閉塞が頻発し、信頼する助産院で週3回「乳腺マッサージ」を受けてきました。ところが同院は産後ケア費用の助成対象ではなく、負担がとても大きいんです。それで助成が受けられる病院を試してみま

したが結果は思わしくなく、通っていた助産院に戻りました。助成が受けられる施設がある一方、受けられない施設もあるのは“なぜ”なのか。理由はわかりませんが、こうした状況だと第2子を産むことは考えられませんか、同じ気持ちの母親は京都府にたくさんおられると思います。産後ケア費用の助成が受けられる施設、京都府にもっと増やしてもらえないでしょうか。



### わたし“田中しほ”の回答

(Bさんへは電話とメールで返答済み)



現状、京都府が産後ケア費用を助成する予算の多くを占めているのは政府からの補助金です。そのため助成が受けられる施設を増やすには、京都府が自力で予算を増やす必要があるのですが、それが難しいのも事実です。また、左頁で紹介したAさん傍聴の「産後ケア事業」に登録すれば、助成があるのに近い費用で乳腺マッサージを受けられるのですが、それでは「信頼する助産院で」というBさんの気持ちに伝えることにはなりません。しかもBさんがおっしゃった「第2子を産むこ

とは考えられません」の言葉は重く、助成を必要とする母親が京都府にたくさんおられるだろうことも同感です。進む少子化を防ぐことにもなる「産後ケア費用の助成」対象施設を京都府に増やすにはどうすればよいのか――。まずは徹底的な“行政改革”を推し進めて財源をつくり、確保した予算を産後ケア費用の助成に投入していく。その実現を議会や委員会で粘り強くアピールし続けること、皆さんにお約束いたします。